

令和6年度事業報告

1. 事業部門(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度の事業運営では公益目的事業の①研究助成、事業助成、ボランティア活動助成を予算内で実施しました。②教育研修事業では各種の研修会を通して受講者の減少により収入面での減収が見込まれましたが計画通りの研修を実施いたしました。③支援助成事業では、新たに災害支援助成を導入しましたが大幅な支出の発生はなく推移しています。④委託調査研究業では、計画通りに令和7年3月末で実施いたしました。⑤海外研修事業では、海外での研修は実施せず海外からの来訪者の対応を行い、日本での介護施設や訪問看護事業者への施設見学等を実施いたしました。⑥情報提供の「ふれあいの輪 Web 版」は年4回の刊行を行いました。

正味財産増減計算書の公益目的事業会計の6事業部門の収支差額は▲3,191,178 円、法人会計部門の収支差額は▲147,676 円の赤字で終了しています。この要因は経常収益の前年度対比で株式売却に伴う買い替え等により、前年3月末で経常収益に大きなマイナスが生じております。また、経常費用におきましては、前年度対比では事業費並びに法人会計の管理費は大幅な削減となっています。

収支相償においては公益目的事業に係る「費用を超える収入を得てはならない」ことでは適用しています。

[1]公益目的事業

I. 研究事業助成事業 (公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業)

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであります。

1)研究・事業助成事業

1. 令和6年度(第35回)第1回選考委員会「ハイブリッド会議」

決 議 日	令和6年2月8日(木) 18:30～20:00
開催方法	Web 会議(配信会場:フランスベッド(株)メディカレント東京3階会議室)
選考委員	内田 恵美子(Web出席)・角田 亘(Web出席)・佐々木 淳(Web出席) 福井 小紀子(Web出席) 欠席者:新田 國夫 (敬称略)
厚生労働省	(厚生労働省 医療関連サービス室長) 原 慎治(Web出席)
フランスベッド・ホームケア財団	[会長]松谷 有希雄(会場出席)・[理事長]池田 茂(会場出席) [選考担当理事]田原 啓佐(web出席) [常務理事]澤本 美佐緒(会場出席)・[事務局長]高巢 勝則(会場出席)
議 題	令和6年度研究助成・事業助成・ボランティア活動助成金募集要項他について

「議事次第」

- 1) 選考基準について（助成事業の視点）
- 2) ボランティア活動助成の応募について及び評価シートについて
- 3) 令和6年度研究・事業・ボランティア活動助成募集要綱（案）について
- 4) 令和6年度研究・事業・ボランティア活動助成金申請書（案）について
- 5) 令和6年度助成募集スケジュール（案）について
- 6) 報告事項

2. 令和6年度(第35回)第2回選考委員会

日 時	令和6年5月16日〔木〕 17:30～19:00
場 所	会場:京王プラザホテル 43階 コメット
選 考 委 員	内田 恵美子、角田 亘、佐々木 淳、新田 國夫、福井 小紀子 (敬称略)
厚生労働省	(医政局地域医療計画課 医療関連サービス室長)武田 豊
フランスベッド・ ホームケア財団	[会長]松谷 有希雄、[理事長]池田 茂、[常務理事]澤本 美佐緒 [選考担当理事]田原 啓佐、[事務局長]高巢 勝則
議 題	令和6年度研究助成・事業助成・ボランティア活動助成金採用の審議

「議事次第」

- 1) 令和6年度応募状況について
 - (1)令和6年度応募件数82件（研究61件 事業14件 ボランティア7件）
 - (2)応募者の属性
 - (3)応募・採用件数及び金額一覧表（累計）
- 2) 令和6年度助成金採用の審議
- 3) 選考結果の公表及び通知等の日程について
- 4) その他
- 5) 報告事項
 - (1)令和5年度（第34回）助成の状況
 - (2)委託調査研究について

3. 令和6年度(第35回)助成の対象及びカテゴリー

○助成の対象

- ・在宅ケア等に関する創意工夫を生かした自発的な事業又は先駆的、実験的なモデル事業であって、地域の実情に即したきめ細かな研究・事業・ボランティア活動で普及の可能性の有るものに対し助成を行う。
- ・対象者
 - ◆臨床や地域で従事している職員及び福祉機器・医療機器の事業者の個人あるいはグループを対象とする。

- ◆大学院生。但し、指導教員の推薦書（様式 4-1）が必要です。
※研究助成については原則的に大学教員で指導的立場にある役職の申請者は、応募の対象外とします。
- ◆在宅ケアの推進に資する事を目的として、疾病や生活機能障害を持つ人（例：高齢者や障害者（児）等）を対象として公益のために活動しているボランティア団体

（１）研究助成カテゴリー

- ①地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大、およびこれらの質の向上に関する研究
- ②病院から在宅療養への連携（病診連携、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携、病院看護師と訪問看護師との連携及び訪問看護師同士の連携）に関する研究、在宅医療・看護・介護（ケアラーも含む）に関する研究
- ③リハビリテーション活動や機器に関する研究
- ④難病や終末期及び精神障害の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑤福祉用具の開発及び活用・効果・安全管理に関する研究
- ⑥その他（医療行為の安全、海外のホームケア、災害後のケア）

（２）事業助成カテゴリー

- ①在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業
- ②疾病や生活機能障害を持つ人（例：高齢者や障がい者（児）等）の在宅ケア推進関連事業
- ③認知症、難病、終末期、精神障害、被虐待、ケアラー等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業

（３）ボランティア活動助成

- 在宅ケアの推進に資する事を目的として、疾病や性機能障害を持つ人（例：高齢者や障がい者（児）等）を対象として公益のために活動しているボランティア団体に対して助成いたします。

4. 研究・事業助成採用について

実 施 時 期	助成金決定日～令和7年3月31日		
募 集 期 間	令和6年2月15日（木）～令和6年4月15日		
応 募 総 数	82件	採用件数:42件	助成金総額:11, 990, 000円
助成金累計総額	517, 720, 000円		

※助成応募・採用件数及び金額一覧表は4頁の資料のとおりです。
※令和6年度助成金採用者一覧表は5頁～9頁の資料のとおりです。

5. 第34回（2023年度）研究助成・事業助成・ボランティア活動助成報告書の発行について

※2024年9月に発行、印刷部数230部

※発送先:採択者、財団関係者、フランスベッド関係者に発送済

助成応募・採用件数及び金額一覧表

令和6年6月30日現在

令和6年6月30日現在

年 度	応募件数	採用件数	採用率 (%)	内 訳						応募予算 1件当たり10万～100万	実 績
				研 究		事 業		ボランティア			
				件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
平成2年度	64	31	48.4	17	54.8	14	45.2			3,000 万円	2,597 万円
平成3年度	67	31	46.3	17	54.8	14	45.2			3,000 万円	3,049 万円
平成4年度	59	31	52.5	21	67.7	10	32.3			3,000 万円	3,000 万円
平成5年度	61	21	34.4	15	71.4	6	28.6			2,000 万円	1,760 万円
平成6年度	50	14	28.0	11	78.6	3	21.4			1,500 万円	1,300 万円
平成7年度	54	16	29.6	12	75.0	4	25.0			1,500 万円	1,296 万円
平成8年度	46	18	39.1	13	72.2	5	27.8			1,500 万円	1,285 万円
平成9年度	44	17	38.6	13	76.5	4	23.5			1,500 万円	1,355 万円
平成10年度	56	22	39.3	13	59.1	9	40.9			2,000 万円	1,800 万円
平成11年度	49	19	38.8	11	57.9	8	42.1			1,500 万円	1,350 万円
平成12年度	35	19	54.3	14	73.7	5	26.3			1,500 万円	1,400 万円
平成13年度	37	19	51.4	12	63.2	7	36.8			1,500 万円	1,402 万円
平成14年度	45	19	42.2	16	84.2	3	15.8			1,500 万円	1,208 万円
平成15年度	44	20	45.5	14	70.0	6	30.0			1,500 万円	1,408 万円
平成16年度	39	24	61.5	21	87.5	3	12.5			2,000 万円	1,752 万円
平成17年度	87	30	34.5	22	73.3	8	26.7			1,700 万円	1,750 万円
平成18年度	95	39	41.1	30	76.9	9	23.1			2,500 万円	2,488 万円
平成19年度	81	40	49.4	36	90.0	4	10.0			3,000 万円	2,892 万円
平成20年度	96	46	47.9	39	84.8	7	15.2			3,000 万円	2,891 万円
平成21年度	6	5	83.3	0	0.0	5	100.0			300 万円	205 万円
平成22年度	54	15	27.8	11	73.3	4	26.7			600 万円	584 万円
平成23年度	45	11	24.4	9	81.8	2	18.2			500 万円	510 万円
平成24年度	55	19	34.5	17	89.5	2	10.5			500 万円	514 万円
平成25年度	70	26	37.1	22	84.6	4	15.4			500 万円	874 万円
平成26年度	57	49	86.0	19	38.8	7	14.3	23	46.9	1,200 万円	1,103 万円
平成27年度	76	51	67.1	25	49.0	6	11.8	20	39.2	1,200 万円	1,228 万円
平成28年度	46	34	73.9	15	44.1	10	29.4	9	26.5	1,200 万円	1,094 万円
平成29年度	64	45	70.3	26	57.8	7	15.6	12	26.7	1,200 万円	1,319 万円
平成30年度	59	35	59.3	18	51.4	12	34.3	5	14.3	1,200 万円	1,181 万円
令和元年度	58	39	67.2	21	53.8	10	25.6	8	20.5	1,200 万円	1,304 万円
令和 2 年度	53	34	64.2	23	67.6	6	17.6	5	14.7	1,200 万円	1,204 万円
令和 3 年度	47	32	68.1	24	75.0	3	9.4	5	15.6	1,200 万円	1,153 万円
令和 4 年度	44	30	68.2	20	66.7	4	13.3	6	20.0	1,200 万円	1,083 万円
令和 5 年度	64	36	56.3	20	55.6	11	30.6	5	13.9	1,200 万円	1,234 万円
令和 6 年度	82	42	51.2	27	64.3	9	21.4	6	14.3	1,200 万円	1,199 万円
合 計	1,989	979	49.2	644	66	231	34	104	11	54,300 万円	51,772 万円

令和6年度(第35回)研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 採択者一覧表

応募件数 合計 82 件

◆研究助成 61 件（一般 46 件、大学院生 15 件）◆事業助成 14 件 ◆ボランティア活動助成 7 件

採択件数 合計 42 件

◆研究助成 27 件（一般 19 件、大学院生 8 件）◆事業助成 9 件 ◆ボランティア活動助成 6 件

研究助成（27 件）

① 地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大、およびこれらの質の向上に関する研究(9 件)

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
1	旭川医大	腎泌尿器外科	講師	和田 直樹	自己導尿や膀胱留置カテーテルの教育動画による在宅介護者の意識向上に関する検討
2	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	疫学・衛生学分野	博士課程	萩山 明和	地域在住高齢者におけるフレイルと要介護認定発生の長期的な関連性：岡山市健康診査データを用いた 10 年間のコホート研究
3	広島大学大学院	人間社会科学部研究科	人間総合科学プログラム・博士課程後期学生 1 年次	中尾 治子	在宅介護の破綻を防ぐための効果的な専門職者と在宅介護者の教育モデルの研究
4	埼玉医科大学病院	中央検査部	臨床検査技師	野村 和弘	誰もが使用可能な心音図検査装置と AI による遠隔評価—心不全患者の早期診断への有用性の検証—
5	公益社団 京都保健会 京都民医連中央病院	看護部	副看護部長	長谷川 美智子	急性期病院における高齢患者のせん妄・認知症ケアへの住民ボランティア参画のケアプログラム開発と評価
6	福井大学大学院	医学系研究科修士課程看護学専攻	大学院生	丹羽 昭乃	地域在住高齢者における嗅覚低下による嚥下関連筋への影響
7	一般社団法人松戸市医師会	松戸市在宅医療・介護連携支援センター	保健師	上原 たみ子	生命の危機につながる状況下で援助要請をしない精神障害者の在宅生活の継続を目指す医師と看護職のコンピテンシー
8	香川県立保健医療大学看護学科在宅看護学	保健医療学部看護学科在宅看護学	助教	諏訪 亜季子	在宅で暮らす重症心身障害児（者）と看取り期の高齢者家族等の多重介護を担う多重介護ケアラー家族まるごと支援モデルの検討
9	筑波大学大学院	人間総合科学学術院人間総合科学研究群看護科学学位プログラム	大学院生 博士後期課程	平栗 智美	アシステッド腹膜透析における訪問看護師の看護実践に関する質的研究

② 病院から在宅療養への連携に関する研究、在宅医療・看護・介護（ケアラーも含む）に関する研究(4件)

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
10	聖隷クリストファー大学大学院	リハビリテーション科学研究科	博士後期課程生	亀山 裕斗	地域在住脳卒中患者の死亡に関連する因子の研究-サルコペニアに着目して-
11	令和リハビリテーション病院	リハビリテーション科	理学療法士	伯川 聡志	回復期リハビリテーション病院から退院した患者の在宅転倒リスク要因の解明
12	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	リハビリテーション科部	理学療法士	岩瀬 拓	訪問による認知症リハビリテーションの効果に関する予備的検証
13	三重大学大学院医学系研究科	リハビリテーション医学	理学療法士	牛田 健太	科学的介護情報システム（LIFE）データを用いた機械学習による要介護者の臥床時間と食事摂取量および便秘との関連性の調査

③ リハビリテーション活動や機器に関する研究（12件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
14	学校法人 国際医療福祉大学	西那須野マロニエ訪問看護ステーション	理学療法士	鈴木 皓大	ESPEN/EASO 定義のサルコペニア肥満に対するリハビリテーション介入の概要：スコアリングレビュー
15	愛知県三河青い鳥医療療育センター	三次元動作解析室	動作解析専任研究員 理学療法士	伊藤 忠	脳性麻痺児における歩行神経筋電気刺激装置 L300Go を使用した歩行機能改善の効果検証
16	杏林大学医学部付属病院	リハビリテーション室	作業療法士	池田 光代	脳卒中後のプッシャー症状に対する腹臥位療法の効果（ランダム化比較試験）
17	社会医療法人三車会 貴志川リハビリテーション病院	リハビリテーション部	科長	田津原 佑介	脳卒中患者の短下肢装具装着における効果的な自助具の検証
18	道ノ尾みやた整形外科	リハビリテーション科	科長・理学療法士	石井 瞬	地域在住高齢者に対する超音波エコーを用いた正確かつ簡便なサルコペニア評価の確立
19	自治医科大学附属さいたま医療センター	リハビリテーション部	理学療法士	会田 慶太	超音波による筋輝度が心不全患者の経過と予後を反映するかの検証（在宅応用に向けて）
20	筑波大学	システム情報系	助教	鈴木 康裕	児童を対象とした漫画（教育的資料）の配布における介入効果の検討

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
21	新潟万代病院	リハビリテーション科	主任・理学療法士	本間 大介	筋の硬さは筋の質に関連する のか -健康寿命の延伸を目指 した効果的な在宅ケア方法の 考案にむけて-
22	神奈川県総合 リハビリテー ションセンタ ー神奈川リハ ビリテーショ ン病院	リハビリテー ション部 理学療法科	主査	森田 智之	車椅子前輪ユニットを活用し た車椅子利用者の活動量向上 に向けての取り組み
23	国立研究開発 法人国立長寿 医療研究セン ター	健康長寿支 援ロボット センター 健康長寿テ クノロジー 応用研究室	研究員	霜鳥 大希	在宅医療・介護における GPS とバイタル情報を用いた life-space 評価の有用性の 検証
24	湘南医療大学	保険医療学 研究科 修 士課程	理学療法士	楠田 菜緒子	ALS 在宅療養者の身体的苦痛 に対する熟達化したケアの構 成要素に関する研究
25	札幌医科大学	保健医療学 部理学療法 学科理学療 法学第一講 座	研究員（理学 療法士）	佐藤 優衣	在宅および施設入所中の成人 脳性麻痺者における骨折リス クと予防に関する調査研究

④ 難病や終末期及び精神障害の在宅医療・看護・介護の支援強化に関する研究 採択なし

⑤ 福祉用具の開発及び活用・効果・安全管理に関する研究（1 件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
26	株式会社ケアーズ	坂町ミモザの家	管理者	吉住 真紀子	看護小規模多機能型居宅介護 における移乗用リフトの導 入・活用に関する研究

⑥ その他（医療行為の安全、海外のホームケア、災害後のケア（1 件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
27	公立大学法人 横浜市立大学 附属病院	看護部患者 サポートセ ンター	摂食嚥下障害 看護認定看護 師	富井 ルミ	特定行為看護師による胃ろう カテーテル交換の安全性の検 証に関する前向き観察研究

事業助成（9 件）

- ① 在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業 採択なし
- ② 疾病や生活機能障害を持つ人（例：高齢者や障がい者（児）等）の在宅ケア推進関連事業（4 件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
28	医療法人 杏和会 阪南病院ケアサポートセンター杏	阪南病院ケアサポートセンター杏	管理者	上野 秀香	地域包括ケアシステム推進のため、地域住民と医療介護福祉に関わる多職種等が、共に地域の強みを見つけ出し、地域特性に合った活動へ繋げる
29	ゆめかすてらプロジェクト	ゆめかすてらプロジェクト	代表	三串 伸哉	第 5 回長崎嚙下食デザートコンテスト
30	一般社団法人 STADT	地域総合クラブらいおん CLUB	理事	谷口 慶太	発達障がい児とその家族への合理的配慮の社会実装
31	特定非営利活動法人 tomoni なごや	事務局	事務局長	長倉 美由紀	医療従事者によるがん患者・家族への無料相談を通じた療養生活・QOL の向上、及び在宅ケアの質の向上に向けた医療従事者や地域住民への啓発・研修

- ③ 認知症、難病、終末期、精神障害、被虐待、ケアラー等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業（5 件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏 名	テーマ
32	フェアウィズ訪問看護ステーション	訪問看護部	管理者	坂本 翔太	医療・介護・サービスと利用者をつなぐアプリケーションの開発
33	一般社団法人 スペサポ	管理部	代表理事	鈴木 啓吾	在宅療養生活を送る医療的ケア児とその家族に対する支援普及啓発のための 4 コマ漫画シリーズ制作
34	空知グループスーパービジョン研究会	事務局	会計	黒澤 梢	グループスーパービジョンを用いた対人援助職の資質向上と地域ネットワークの構築により、支援対象者が在宅で暮らし続けられる地域づくり
35	木本地区区社会福祉協議会	単位自治会	会長	沖田 正俊	地域の支え合いシステム構築のための認知症等支援ボランティア育成事業
36	柏ビレジ自治会	自治会役員	副会長	森田 幸次	「人生 100 年住み慣れた“我が家”で最期まで暮らしたい」を目標に住民向け講習会の展開

ボランティア活動助成（6件）

	所属施設名・団体名	部署名	役職名・職名	氏名	テーマ
37	東京車いすカーリングクラブ		代表	有野 正樹	オリパラ男女共生カーリング大会の開催
38	滋賀医科大学	医学部看護学科	教授	河村 奈美子	「こちよい」をみつける段ボールハウスをつくろう！
39	特定非営利活動法人いのちとこころ	乳がんサロン	代表理事	出口 明子	乳がん患者支援サロン
40	傾聴ボランティア「とよあけ」	傾聴ボランティア「とよあけ」	代表	小菅 もと子	地域の古民家カフェで行う、在宅ケアを受けている高齢者などの グリーフケア事業
41	SONG STORY	なし	代表	森下 美奈子	医療ケア児（者）に本物の音楽（うた）を届ける活動
42	任意団体「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会	運営委員会	代表	中村 好江	超高齢社会の「高齢者の居場所と出番 - 高齢者相互支援社会創り」
			研究助成	27件	¥8,300,000
			事業助成	9件	¥3,210,000
			ボランティア活動助成	6件	¥480,000
			総合計	42件	¥11,990,000

Ⅱ．教育研修事業〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓発活動事業〕

令和6年度教育研修事業

1)	リフトリーダー養成研修
2)	福祉用具プランナー認定講習 2回開催
3)	介護支援専門員講習(オンデマンドセミナー)

1)リフトリーダー養成研修の実施

リフトリーダー養成研修とは、介護労働者の身体的負担軽減や腰痛予防のため、移動リフトをはじめとする福祉用具の活用が望まれる。この研修は、アセスメント手法と身体機能に合わせた福祉用具の選定や活用方法を学び、介護支援に携わる専門職等の資質向上を図ることを目的に、介護者の腰痛予防を図り、利用者ニーズに対応した質の良いサービス提供の促進を目指します。

第1回リフトリーダー養成研修(札幌市開催)

・日時:令和6年6月7日〔金〕～8日〔土〕 2日間

- ・場所:札幌市産業振興センター
「札幌市白石区東札幌5条1丁目 1-1」
- ・参加者:30名 再試験者(リフトインストラクター)2名
- ・受講者職種:介護福祉士、OT、PT、福祉用具専門相談員
- ・受講料:16,500円(内、テクノエイド協会2,700円、テキスト代)
※この研修終了後に、リフトインストラクター認定試験を実施。
筆記試験・実技試験 (初級、中級、上級、資格)
※リフトリーダー養成研修報告は HP に掲載しています。

第2回リフトリーダー養成研修(静岡市開催)

- ・日時:令和6年9月13日(金)～9月14日(土)
- ・場所:静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
「静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目 3 番 1 号」
- ・参加者:16名
- ・受講者職種:介護福祉士、OT、PT、福祉用具専門相談員
- ・受講料:16,500円(内、テクノエイド協会2,700円、テキスト代)
※この研修終了後に、リフトインストラクター認定試験を実施。
筆記試験・実技試験 (初級、中級、上級、資格取得)
※リフトリーダー養成研修報告は HP に掲載。

2)福祉用具プランナー認定講習の実施

第1回福祉用具プランナー認定講習(東京)の開催 100. 5時間

- ・日時:令和6年8月19日(月)～令和6年10月18日(金) eラーニング期間
令和6年10月23日(水)～26日(土) 4日間 前期集合研修
令和6年10月31日(木)～11月2日(土) 3日間 後期集合研修
- ・主催:公益財団法人テクノエイド協会
- ・集合研修実施機関:(公財)フランスベッド・ホームケア財団
- ・場所:フランスベッド(株)メディカレント東京3階「東京都小平市天神町 4-1-1」
- ・参加人数: 28名(内1名補講者)
- ・受講料:58,400円(内、21,000円テクノエイド協会)
※福祉用具プランナー認定講習(東京)報告は、当財団 HP に掲載しています。

第2回福祉用具プランナー認定講習(広島)の開催 100. 5時間

- ・日時:令和6年9月9日(月)～令和6年11月18日(金) eラーニング期間
令和6年11月13日(水)～16日(土) 4日間 前期集合研修
令和6年11月28日(木)～30日(土) 3日間 後期集合研修
- ・主催:公益財団法人テクノエイド協会
- ・集合研修実施機関:(公財)フランスベッド・ホームケア財団
- ・場所:フランスベッド(株)広島ショールーム「広島県広島市安佐南区」

・参加人数：20名

・受講料：58,400円(内、21,000円テクノエイド協会)

※福祉用具プランナー認定講習(広島)報告は、当財団HPに掲載しています。

3) [講演会等] 介護支援専門員研修「オンデマンドセミナー」の実施

1. 啓発研修会活動では、高齢者をはじめとする在宅療養者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立った情報提供と在宅ケアを支える専門職の方への現任教育としてオンデマンドセミナーを実施しました。

2. オンデマンドセミナーの実施

●全国6地域ブロック

北海道ブロック・東北ブロック・関東甲信越ブロック・中部、静岡ブロック

関西四国ブロック・中国九州ブロック

3. テーマ

「エンドオブライフケアの実践に向けて」

～最期まで自分らしく生ききるのを支える～

4. 講師

認定NP0 マギーズ東京センター長 暮らしの保健室室長 秋山 正子 氏

5. オンデマンド配信（録画配信）

●全国6ブロック毎に配信期間を設定し案内。

6. 募集人員 各ブロック 300名

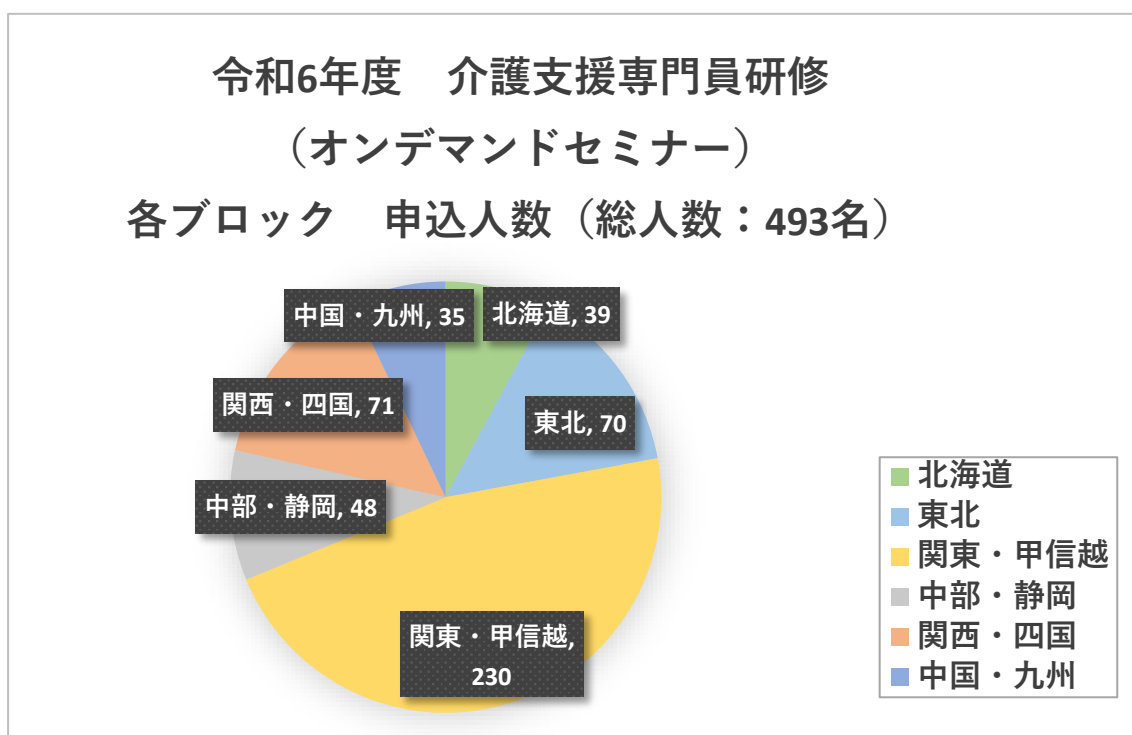
●介護支援専門員研修（オンデマンドセミナー）全国6ブロック開催

	ブロック	ハガキ・ メール送信	募集期間	申込締切期間	オンデマンド 配信期間
			DM 配布先		
1	北海道 B	ハガキ	8月19日(月)～ 9月18日(水)	9月18日(水)	9月24日(火) ～ 10月23日(水)
		メール送信 88件	札幌市		
2	東北 B	ハガキ	9月25日(水)～ 10月24日(木)	10月24日(木)	10月31日(木) ～ 11月29日(金)
		メール送信 202件	福島県、山形県、岩手県、 宮城県		
3	関東・ 甲信越 B	ハガキ	10月28日(月)～ 11月27日(水)	11月27日(水)	12月2日(月) ～ 12月30日(月)
		メール送信 1091件	東京都、信越地区、茨城 県、群馬県		
4	中部・ 静岡 B	ハガキ	12月2日(月)～ 1月6日(月)	1月6日(月)	1月14日(火) ～ 2月13日(木)
		メール送信 220件	愛知県、静岡県		

5	関西・四国 B	ハガキ	1月14日(火)～ 2月13日(木)	2月13日(木)	2月20日(木)～ 3月19日(水)
		メール送信 373件	関西地区、四国地区		
6	中国・九州 B	ハガキ	2月20日(木)～ 3月19日(金)	3月19日(水)	3月24日(月)～ 4月23日(水)
		メール送信 282件	中国地区、九州地区		

※オンデマンド配信期間終了時にはアンケートを回収し、アンケートに回答していただいた方にフィードバックいたしました。(令和7年 2/13 現在、関西地区、四国地区ブロックまで)

7. 各ブロック別オンデマンド申込者一覧表



Ⅲ. 支援助成事業〔公3：在宅ケアの対象となる高齢者や難病の子どもたち等への組織に対する支援助成事業〕

在宅ケア推進の一環として在宅ケアに関する研究および事業に対する助成並びに在宅ケアに関する調査研究および情報提供を行い、もって国民医療の向上に寄与することを目的としております。

1. 支援助成事業

令和6年度の支援助成事業としては、高齢者福祉分野への助成を実施しています。

(1) 高齢者福祉分野への助成カテゴリー

- ① 地域やコミュニティの高齢者を元気にする活動
- ② 高齢者の生きがいや、やりがいをサポートする支援活動

③ 健康で生き生きと暮らせる基盤づくりを推進する活動

④ 高齢者が知識・技術・経験をいかして実施する活動

・申込団体・グループ名 :健康いきがい学会 会長 辻 哲夫

・助成対象となる事業内容: 健康いきがい学会第14回大会

・大会名称:健康いきがい学会第14回大会 開催要項

① 開催方法:オンライン・ハイブリッド方式

② 日時:2024年(令和6年)11月9日(土)9:30～13:15

③ 会場:東京大学工学部2号館(東京都文京区本郷7-3-1)

④ 大会テーマ:人生100年時代の健康いきがいを考える

～健康長寿・幸福長寿まちづくり～

⑤ プログラム:分科会

第1分科会 フレイル予防と健康いきがい

第2分科会 在宅医療と健康いきがい

第3分科会 ロボット・AIの活用と健康生きがい

第4分科会 地域共生と健康生きがい

第5分科会 人生100年時代の学習と健康生きがい

・支援助成金額 300,000円

(2) 災害支援金助成事業

○能登半島大雨災害による支援金助成

・災害支援先:認定 NPO 法人難民を助ける会(AAR Japan)

・支援金助成金額:100,000円

・主な活動:

① 子供たちも手伝って炊き出し実施

② 外国人被災者への食料配布を開始

③ 避難所や在宅避難者への炊き出し開始

・払込日:令和6年10月15日(火)銀行振込

○ミャンマー大地震による災害義援金助成

・災害支援先:特定非営利活動法人ジャパンハート

・義援金助成金額:100,000円

・主な義援金の目的:

① 医療災害支援活動

② 物資支援活動

・払込日:令和7年3月31日(月)銀行振込

IV. 調査、研究委託事業〔公4：在宅ケアに必要とする医療や看護、介護の総合的な資質の向上を図る目的のもとに調査、研究の実施事業〕

在宅ケアに関する調査、研究並びに情報の収集を行い、分析の結果による課題を整理し、在宅ケアに携わる専門職に情報提供することで在宅ケアの質的な向上を図ることを目的としています。

（調査、研究委託事業の流れ）

1. 期初に本年度の財団の実施する調査、研究のあり方検討委員会を立ち上げ、計画の立案を策定いたします。
2. 調査、研究を行うための財源としては公益目的事業の区分会計処理を行い、基本財産の運用益もしくは寄付金による共通費から支出し確保してまいります。
3. 調査、研究の成果の公表としては、年度に調査、研究が終了した段階で報告書を作成し、関係機関への送付を行います。

（令和6年度の調査研究委託事業内容）

摘 要	調査研究委託事業主題	「能登半島地震での介護支援専門員の活動実態に関する調査研究」
	目的・意義	令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、多大な被害が生じ、今なお復興に向けて作業が進められている。そうした中で、介護保険制度の要とされる居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、一方で、担当している要介護・支援者に対してどのような支援をしたのか、他方、介護支援専門員およびその居宅介護支援事業所でどのような被害が生じたのかを明らかにすることを目的にしている。 ここで明らかになった結果は、災害が多い日本において、介護支援専門員が地震などの災害に対して、どのように担当する利用者に対応するか、および自らの事業をどのように継続していくかに示唆することになる。
	委託契約者	一般社団法人日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会 茂古沼 江里 住所：富山県高岡市福岡町矢部 733-5
調査研究期間		令和6年6月28日から令和7年3月末日まで
調査委託事業費		1,000,000円 ※本契約締結後、金500,000円支払い ※中間報告書を確認したとき金500,000円支払い

V.海外調査、研究、研修事業〔公5:海外の先進医療や福祉機器の先端技術の革新から見る総合的な視点から、視察、調査、研究、研修を実地し、国内への啓発事業〕

1. 海外研修について

今年度の海外研修については、海外からの来訪者への対応並びにフランスベッド株式会社とのコラボレーションにより、福祉用具専門相談員人材育成目的の基に東南アジア(ベトナム・中国)への実施計画案の調整を行いました。

- ① 海外からの来訪者(韓国)Hana Financial Group 新事業戦略部 1 名、戦略企画部 2 名、東京支店から 2 名の 5 名の対応

目的:日本の介護施設状況見学

1. 日本赤十字 介護施設
2. 砧ホーム 介護施設

- ② 一般社団法人国際高齢者支援協会、フランスベッド株式会社海外事業部との海外における福祉用具専門相談員講習会養成研修の実施計画(案)についてのミーティングを行いました。

1. 開催場所:①ベトナム(ホーチミン) ②中国の検討
2. 今後の福祉用具専門相談員養成研修計画の検討

- ③ 海外からの来訪者(中国南通市崇川区副区長、中国南通市崇川区民政局、南通市礼愛)の 3 名の対応

1. 東京都保健福祉財団(福祉用具展示室見学及び体験)
2. 日本の介護保険制度の仕組みについて講演

- ④ 海外からの来訪者(韓国)施設経営者 ケアビレッジ会長、ソ・ウンギョ・ケアビレッジ社長、パク・ヨンギョ の 2 名の対応

1. 東京都保健福祉財団(福祉用具展示室見学及び体験学習)
2. 日本の介護保険制度の仕組みについて講演

VI. 情報提供事業〔公6:在宅ケア等を含め、医療・介護・看護分野等の専門的かつ有用な
情報提供として、季刊誌「ふれあいの輪」の刊行及び情報提供事業〕

1) 事業の概要について

1. 高齢化社会が続き高齢者を取り巻く環境は、家族、地域、社会へ寄り添う医療、介護、看護の在り方も多様化しています。季刊誌「ふれあいの輪」はこうした多様化する社会へ新しいケア、新しい施設、新しいサービス、新しい働き方等の情報を発信し、「ふれあいの輪」Web版を通して新たな発見や情報の共有化を図ってまいります。

2. 「ふれあいの輪」Web版にて年4回の刊行となります。

No.212 (春号) 2024.4.1 刊行	・介護最前線 UR 団地をリノベーションしてバリアフリーに。サ高住で元気なうちからセカンドライフを楽しむ。 ゆいまーる多摩平の森/ハウス長 味元 佳恵 氏 ・知っとく！ 「介護ロボット支援策を活用してください」/介護ロボットで人手不足を解消/現場の生産性向上と業務の効率化 厚生労働省老健局 高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 室長補佐 秋山 仁 氏 ・福祉用具の活用事例 マルチポジションベッドとハグ福祉用具を活用して可能な限り在宅介護を続ける 静岡県焼津市 Sさん夫婦 ・在宅ケアケース事例 退院前カンファレンスと家屋評価を実施して福祉用具を揃え、家庭環境を整える 主任介護支援専門員 高木 はるみ 氏 《監修》国際医療福祉大学大学院 教授 日本ケアマネジメント学会理事長 白澤 政和 氏 ・トピックス(JICAの民間連携事業に協力) グローバルに展開するフランスベッド(株)及びフランスベッド・ホームケア財団の在宅ケア推進・質向上活動
No.213(夏号) 2024.7.1 刊行	・介護最前線 災害医療支援のプロフェッショナル集団「陸・海・空」あらゆる手段で緊急出動 災害緊急支援プロジェクト ARROWS プロジェクトリーダー 稲葉 基高 氏 ・知っとく！

	高齢者の災害対策とは？地域ぐるみのコミュニケーションと訓練 災害時は「水分」「栄養」「薬」を忘れないで！ 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 看護学科 老年看護学 教授 松岡 千代 氏 ・ズームアップひと 軽くて丈夫、災害時に最適！ 強化段ボールでテーブルやいすを手作り 理学療法士 島川 弘美 氏 ・在宅ケアケース事例 老々介護もしくは家族の介護力が足りない在宅介護をどう支えるか 株式会社 PRO 取締役本部長 鮫島 寛大 氏 〈監修〉国際医療福祉大学大学院 先進的ケア・ ネットワーク開発研究分野 教授 石山 麗子 氏 ・トピックス 令和6年度(第35回)研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 採択者一覧
No.214(秋号) 2024. 10. 1 刊行	・介護最前線 EPA 一択から「技能実習」「特定技能」へ広がる外国人介護人材の受け入れ問戸 公益社団法人国際厚生事業団専務理事 片岡 佳和氏 ・知っとく ICTと福祉用具活用による新たな介護の形 介護DXに取り組む特養「Green ガーデン南大分」 社会福祉法人大翔会グループ 最高執行責任者 理事長 渡邊 利章 氏 ・在宅ケアケース事例 深刻化する老老介護の現実 家族の支えと社会の役割とは 株式会社 RL あおぞらケアプランセンター 富田 洋介 氏 〈監修〉国際医療福祉大学大学院 教授 日本ケアマネジメント学会理事長 白澤 政和 氏 ・トピックス 「リフトリーダー養成研修」を札幌で開催 主催/公益財団法人テクノエイド協会 実施機関/公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

No.215(冬号) 2025. 1.1 刊行	・介護最前線 防犯・見守り・健康24時間365日の安全と安心 ホームセキュリティー最前線 セコム株式会社セキュリケア事業推進室 課長 河村 雄一郎 氏 ・知っとく 独居高齢者の財産管理、高齢化社会における成年後見制度の重要性 日本司法支援センター(法テラス) 本部法務室長(常勤弁護士) 水島 俊彦 氏 ・ズームアップひと チャイルド・ライフスペシャリスト(CLS)の先駆者 渡米して資格を取得 千葉県こども病院 CLS として勤務、CLS 協会会長 大橋 恵 氏 ・在宅ケアケース事例 独居・認知症の人をみるときは緻密な情報収集とチーム判断がカギとなる 社会福祉法人うらら すまいるプラス 部長 吉田 京子 氏 〈監修〉 国際医療福祉大学大学院 先進的ケア・ネットワーク開発分野 教授 石山 麗子 氏 ・福祉用具の活用事例 財託医療に寄り添う「かかりつけ薬剤師」服薬支援装置で独居老人や老々介護の飲み忘れや飲み間違いを防止 株式会社アイセイ薬局在宅推進部課長 牛来 大児 氏 ・トピックス 知識を深め技術を磨く研修・講習の秋来たる 第2回「リフトリーダー養成研修」を静岡で開催 主催/公益財団法人テクノエイド協会 実施機関/公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団
------------------------------------	---

2. 管理部門

令和6年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

〔1〕許認可事項

なし

〔2〕会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

(1)理事会

第38回定時理事会(令和6年5月30日)Webハイブリッド会議

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)
事業報告及び決算報告の件 |
| 第2号議案 | 定時評議員会の招集通知について |
| 第3号議案 | 保有株式の権利行使について |
| 第4号議案 | 令和6年度研究事業助成採用について |
| 第5号議案 | 諸規程の改定について |

第39回定時理事会(令和6年10月18日)Webハイブリッド会議

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 報告事項Ⅰ-1 | 令和6年度(令和6年4月1日～令和6年9月30日)
事業報告の件 |
| 報告事項Ⅰ-2 | 令和6年度(令和6年4月1日～令和6年9月30日)
財務諸表報告の件 |
| 報告事項Ⅱ | 2024年下期の行事予定 |
| 決議事項 | |
| 第1号議案 | 選考委員の選任の件 |
| その他報告事項 | 新しい公益法人・公益信託鮮度について(別紙明細) |

第40回定時理事会(令和7年2月3日)Webハイブリッド会議

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 第1号議案 | 令和7年度事業計画
(その他取組) |
| 第2号議案 | 令和7年度収支予算書
(別紙附属明細) |
| 第3号議案 | 資金調達及び設備投資の見込みについて |
| 第4号議案 | 定時評議員会の招集通知の件 |
| 第5号議案 | 選考委員の選任について |
| その他報告事項 | ① 令和7年度行事予定
② 35周年記念事業について |

(2)評議員会

第26回定時評議員会(令和6年6月17日) Web ハイブリッド会議

報告事項 1. 令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)
事業報告の報告

決議事項

第1号議案 令和5年度(令和5年4月1日～令和5年3月31日)
計算書類等承認の件・監事報告

第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件

第3号議案 評議員の選任について

報告事項:

1. 保有株式の権利行使について
2. 令和6年度研究事業助成採用について

第27回定時評議員会(令和7年2月21日)Web ハイブリッド会議

第1号議案 令和7年度事業計画
(その他の取組)

第2号議案 令和7年度収支予算書
(別紙附属明細)

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

その他報告事項

- ① 令和7年度行事予定
- ② 35周年記念事業について
- ③ 選考委員の継続選任について

(3)企画編集会議開催

第1回 季刊誌「ふれあいの輪」夏号企画編集会議(令和6年5月16日)

イ)第213号の掲載内容の検討

ロ)各頁の進捗状況報告

第2回 季刊誌「ふれあいの輪」秋号企画編集会議(令和6年7月30日)

イ)第214号の掲載内容の検討

ロ)各頁の進捗状況報告

第3回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画編集会議(令和6年11月28日)

イ)第215号の掲載内容の検討

ロ)各頁の進捗状況報告

第4回 季刊誌「ふれあいの輪」 春号企画編集会議(令和7年2月20日)

イ) 第216号の掲載内容の検討

ロ) 各頁の進捗状況報告

[3]内閣府提出資料

(1)事業報告等に係わる提出書

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規程により提出。

- ・提出日 : 令和6年6月26日(月)
- ・提出先 : 内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料: 財産目録、役員等名簿、報酬等の支給の基準を記載した書類、計算書類等

(2)変更届

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項に掲げる変更をしたので、同行の規定により届

- ・提出日: 令和6年7月19日(金)
- ・評議員
新たに就任した評議員 2名「荒木 靖之 氏・村田 裕司 氏」
退任した評議員3名「田村 雅俊 氏・森口 高志 氏・長田 明彦 氏」
- ・理事
新たに理事への就任者 1名「平原 優美 氏」
退任した理事1名「佐藤 美穂子 氏」
- ・監事
新たに就任した監事2名「坂井 義清 氏」「長田 明彦 氏」
退任した監事2名「北村 茂喜 氏」「木村 匡成 氏」

3. その他報告事項

〔1〕 基本財産資産運用報告

① 令和7年3月末日の基本財産一覧表

単位:円

	債券明細		金 額
1	第13回三菱 UFJFG 劣後債	満期保有	20, 000, 000
2	日本生命第2回劣後ローン債流動化第1回劣後債	〃	100, 000, 000
3	東京電力パワーブリット債(第31回社債)	〃	100, 000, 000
4	外国債券サムライ債(フランス電力円貨社債)	〃	100, 000, 000
5	第59回三井住友トラスト H 任意条項付永久劣後債	〃	100, 000, 000
6	第一生命 HD 第3回利払繰延任意条項付永久劣後	〃	100, 000, 000
7	コーラブルユーロ債円貨建債 (シルフリミテッドシリーズ)	〃	100, 000, 000
8	外貨建て債リパッケージ債固定利付債 (JT インターナショナルサービス)	〃	100, 000, 000
9	円貨建て仕組債早期償還条項付パワーデュアル債 (国際金融公社)	〃	100, 000, 000
10	ユーロ円建てコーラブル債 (野村グローバルファンナンス)	〃	100, 000, 000
11	定期預金	〃	2, 000, 000
12	普通預金	〃	15, 532, 100
13	株式(フランベッドホールディングス株式) 40 万株	時 価	521, 600, 000
	基本財産合計額		1, 459, 132, 100

1.株式の評価損益 6, 200, 000円 増加

2.基本財産普通預金 ▲2, 300, 000円 減少

②今期における基本財産運用委員会

- ・今期では満期償還及び早期償還事項が発生していないため運用委員会は実施していません。
- ・新規の債券購入が発生していないため報告は行っていません。

〔2〕電子帳簿法制度への取り組み

- ・大まかには実施しているが、システム(スマイル)の運用面で遅れが発生しています。
- ・今期中に解消できるよう行うものとなりました。

〔3〕DX 推進に向けた取り組み

- ・助成金申請及び研修申込システムフォームのミスマッチが発生している為、見直しを行いました。
- ・申請書受付運用方法(フォーム)の見直し。
- ・申請書の一元管理及び電帳法への対応。

- ・ドキュメント管理システムの導入及び環境作成いたしました。
- ・AI 対応 (クイッククリエイター) できる課題の抽出いたしました。

[4] 公益法人制度改正法の取組

I. 財務基準の柔軟化

- (1) 財務基準の柔軟化 (収支相償原則の見直し)
 - ・中期的な収支均衡を求めていることを法令規程上、明確にする。
- (2) 公益充実資金の創設
 - ・特定費用準備資金、資産取得資金で収支相償対策をする (これらをあわせた「公益充実資金」を創設する)。
- (3) 遊休財産の見直し
 - ・規制の対象は、使途不特定財産

II. 柔軟・迅速な事業展開のための行政手続きの簡素化・合理化

- (1) 変更手続きの見直し
 - ・事業変更の多くが「変更認定」(事前)から「変更届出」(事後)に変わります。
- (2) 申請・提出書類の簡素化
 - ・事業報告及び変更届等の抜本的な見直しと簡素化が図られます。

III. 自律的ガバナンスの充実・透明性の向上

- (1) 公益法人が自ら適切なガバナンスを確保するための仕組みが強化されます。
- (2) 公益法人の情報開示が強化され、透明性が向上します。
- (3) 行政庁はメリハリのある効果的な事後チェックを行います。